

販売中止製品について

2022年4月
東和薬品株式会社

販売中止製品

◇経過措置満了時期：2024年3月末（予定）

製品名	在庫終了（予定）
ジクロフェナクNa徐放カプセル37.5mg「トーワ」	2022/10
フルスルチアミン注10mg「トーワ」	2022/11～2023/1
フルスルチアミン静注25mg「トーワ」	2023/1
ミルナシبران塩酸塩錠12.5mg/15mg/25mg/50mg「トーワ」	2022/9～2023/6

販売中止製品

- ◇疑義解釈委員会了承済み（7製品）
- ◇経過措置満了時期：2024年3月末（予定）

製品名	中止理由	代替品	先発・代表薬剤
ジクロフェナクNa徐放カプセル37.5mg「トーワ」	需要状況等により	自社（含量・剤形違い）※ ジクロフェナクNa錠25mg「トーワ」 ※剤形および効能・効果、用法・用量等は異なる	ナボールSRカプセル37.5 ボルタレンSRカプセル37.5mg
フルスルチアミン注10mg「トーワ」	需要状況等により	アリナミンF10注	アリナミンF10注
フルスルチアミン静注25mg「トーワ」	需要状況等により	アリナミンF25注	アリナミンF25注
ミルナシプラン塩酸塩錠 12.5mg/15mg/25mg/50mg「トーワ」	需要状況等により	トレドミン錠12.5mg/15mg/25mg/50mg	トレドミン錠 12.5mg/15mg/25mg/50mg

ジクロフェナクNa徐放カプセル37.5mg「トーフ」

◇先発・代表薬剤：ナボルSRカプセル37.5/ボルタレンSRカプセル37.5mg

◇経過措置満了時期：2024年3月末（予定）

◇代替品：自社（含量・剤形違い）※ ジクロフェナクNa錠25mg「トーフ」

※剤形および効能・効果、用法・用量等は異なる

◇中止理由：

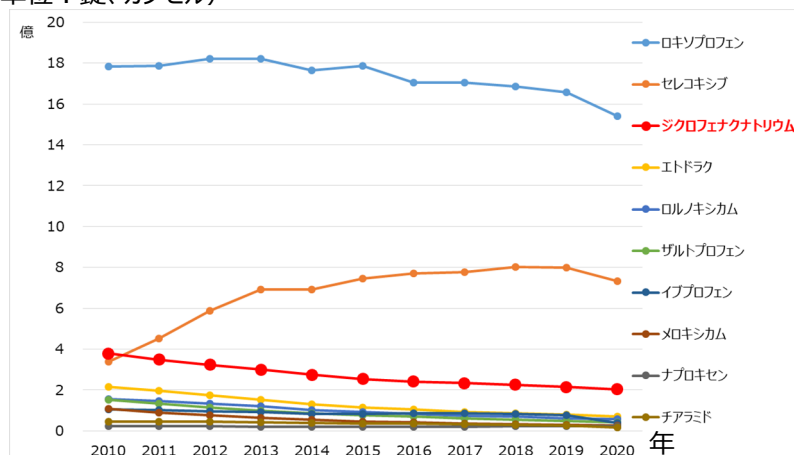
本剤はアリール酢酸系の非ステロイド性鎮痛・消炎剤（NSAIDs）ですが、昨今、胃腸障害の副作用の少ない薬剤が使われてきており、本剤の需要が減少していることから、検討を行いました結果、ジクロフェナク製剤について錠剤を継続販売することとし、本剤を販売中止とさせていただきます。

※販売開始：1997年7月

先発・代表薬剤（ナボルSRカプセル37.5）は1990年12月販売開始

先発・代表薬剤（ボルタレンSRカプセル37.5mg）は1990年12月販売開始

（単位：錠、カプセル）



【効能・効果】

下記の疾患並びに症状の消炎・鎮痛

関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、
頸肩腕症候群

参考：東和出荷数量（2021年度）

26,511,800カプセル

フルスルチアミン注10mg「トーフ」

◇先発・代表薬剤：アリナミンF10注

◇経過措置満了時期：2024年3月末（予定）

◇代替品：アリナミンF10注

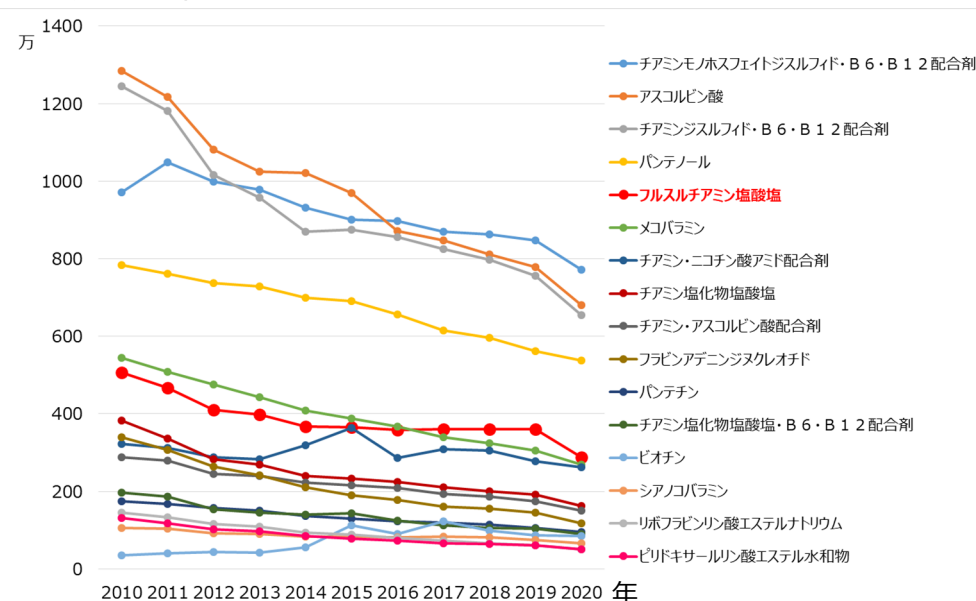
◇中止理由：

本剤の適応はビタミンB₁欠乏症の予防及び治療ですが、本剤の需要が減少していることから、検討を行いました結果、フルスルチアミン注射剤についてはフルスルチアミン静注50mg「トーフ」を継続販売することとし、本剤を販売中止とさせていただくこととなりました。

※販売開始：1990年9月

先発・代表薬剤（アリナミンF10注）は1962年7月販売開始

（単位：瓶、筒など）



【効能・効果】

- ・ビタミンB₁欠乏症の予防及び治療
- ・ビタミンB₁の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時等）
- ・ウェルニッケ脳症
- ・脚気衝心
- ・下記疾患のうちビタミンB₁の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合

神経痛
筋肉痛、関節痛
末梢神経炎、末梢神経麻痺
心筋代謝障害
便秘等の胃腸運動機能障害
術後腸管麻痺

ビタミンB₁欠乏症の予防及び治療、ビタミンB₁の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給、ウェルニッケ脳症、脚気衝心以外の効能・効果に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

参考：東和出荷数量（2021年度）
131,400管

フルスルチアミン静注25mg「トローワ」

◇先発・代表薬剤：アリナミンF25注

◇経過措置満了時期：2024年3月末（予定）

◇代替品：アリナミンF25注

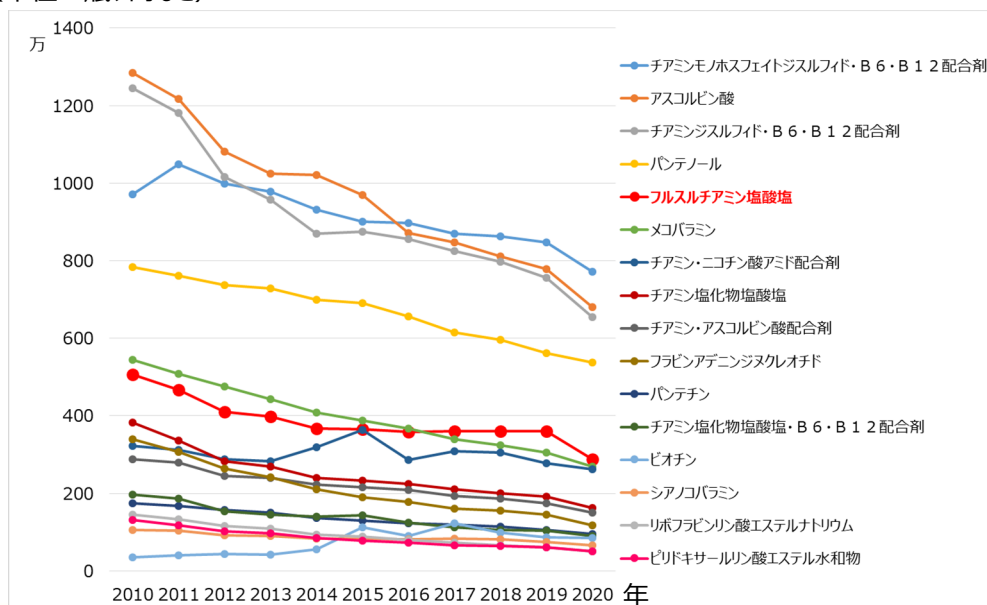
◇中止理由：

本剤の適応はビタミンB₁ 欠乏症の予防及び治療ですが、本剤の需要が減少していることから、検討を行いました結果、フルスルチアミン注射剤についてはフルスルチアミン静注50mg「トローワ」を継続販売することとし、本剤を販売中止とさせていただくこととなりました。

※販売開始：1990年9月

先発・代表薬剤（アリナミンF25注）は1962年7月販売開始

（単位：瓶、筒など）



【効能・効果】

- ・ビタミンB₁ 欠乏症の予防及び治療
- ・ビタミンB₁の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時等）
- ・ウェルニッケ脳症
- ・脚気衝心
- ・下記疾患のうちビタミンB₁の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合
神経痛
筋肉痛、関節痛
末梢神経炎、末梢神経麻痺
心筋代謝障害
便秘等の胃腸運動機能障害
術後腸管麻痺

ビタミンB₁欠乏症の予防及び治療、ビタミンB₁の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給、ウェルニッケ脳症、脚気衝心以外の効能・効果に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

参考：東和出荷数量（2021年度）
72,750管

セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤（SNRI）

ミルナシبران塩酸塩錠12.5mg/15mg/25mg/50mg「トーフ」

◇先発・代表薬剤：トレドミン錠12.5mg/15mg/25mg/50mg

◇経過措置満了時期：2024年3月末（予定）

◇代替品：トレドミン錠12.5mg/15mg/25mg/50mg

◇中止理由：

本剤の適応であるうつ病において、近年、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤（SNRI）では、本剤の需要が減少していることから、検討を行いました結果、販売中止とさせていただくこととなりました。

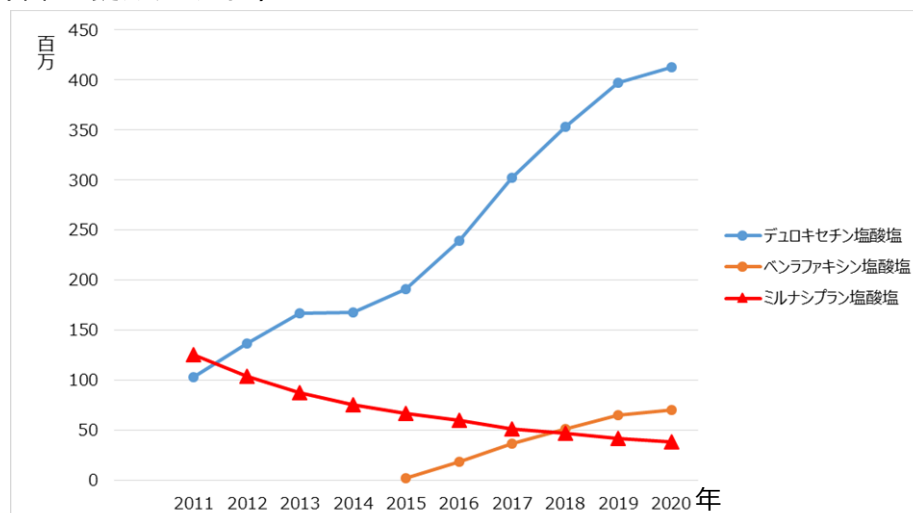
※販売開始：ミルナシبران塩酸塩錠12.5mg/50mg「トーフ」 2011年6月

ミルナシبران塩酸塩錠15mg/25mg「トーフ」 2008年7月

先発・代表薬剤（トレドミン錠12.5mg/50mg）は2008年11月販売開始

先発・代表薬剤（トレドミン錠15mg/25mg）は2009年4月販売開始

（単位：錠、カプセルなど）



【効能・効果】
うつ病・うつ状態

参考：東和出荷数量（2021年度）

12.5mg：131,000錠

15mg：557,700錠

25mg：1,845,500錠

50mg：149,500錠